

釧路工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語
科目基礎情報						
科目番号	0068		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報工学分野		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	FIRST TIME TRAINER FOR THE TOEIC TEST (Revised Edition) (CENGAGE Learning) 参考書：公式TOEIC Listening & Reading 問題集（国際ビジネスコミュニケーション協会）、e-Learning教材（アルク） ）、ジーニアス総合英語（大修館書店） など					
担当教員	矢野 隼人					
到達目標						
TOEIC L&R TESTで400点以上を点数できる英語力を身に着ける。なお、授業ではリーディングとリスニングが大部分を占めるが、ライティング、スピーキングに関しては、100words程度で自分の意見を英語で書くことができるライティング力、英語でスピーチを1分程度行えるスピーキング力も目指す。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	TOEICテストで500点以上のスコアをマークできるレベルの 英語力を獲得する。		TOEICテストで400点以上のスコアをマークできるレベルの 英語力を獲得する。		TOEICテストで300点未満のスコアしかマークできない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 F JABEE f						
教育方法等						
概要	近年、TOEICテストの重要性が益々増してきている。TOEICテストというのは、リスニング力と速読力を重視した実践的な英語コミュニケーション能力を計る試験である。本授業ではテキストのリスニング問題、リーディング問題、文法問題等を通して、TOEICテストに対応できる英語力の養成を目指すと同時に、日常的な場面でのコミュニケーションを行うための基礎力養成を目指す。					
授業の進め方・方法	・ 授業では教科書の演習問題（リーディング、リスニング問題）を解くことを中心とする。スピーキング力とライティング力も養うために、TOEICに関するテーマで言語活動も実施する。 ・ 成績は、定期試験での得点を80%、ライティングやスピーキングの言語活動を20%とし、その平均点を本授業の合否判定で用いる成績評価とする。この成績で 6 0 点以上で合格とする。不合格者に対しては再試験を実施し、 6 0 点以上を合格とする。 ・ 関連科目は「3年英語」と「5年英語」。					
注意点	・ 大学生の意識調査によると取得したい資格の第1位がTOEICとなり、また企業での採用や昇進、大学編入などでもTOEICスコアを採用するところが増えている。本校でもIPテストを年3回（4, 8, 12月）の実施を予定している。 ・ 4年生での受験を強く推奨する。 ・ 教科書の演習問題は必ず予習・復習すること。その際、必要に応じて辞書を活用すること。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 教科書 Unit 1 指名しながら解答・解説		ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。	
		2週	教科書 Unit 1 指名しながら解答・解説		平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。	
		3週	教科書 Unit 2 指名しながら解答・解説		ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。	
		4週	教科書 Unit 2 指名しながら解答・解説		平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。	
		5週	教科書 Unit 3 指名しながら解答・解説		ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。	
		6週	教科書 Unit 3 指名しながら解答・解説		平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。	
		7週	復習		学習の振り返りと補充	
		8週	前期中間試験を実施する			
	2ndQ	9週	教科書 Unit 4 指名しながら解答・解説		ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。	
		10週	教科書 Unit 4 指名しながら解答・解説		平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。	
		11週	教科書 Unit 5 指名しながら解答・解説		ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。	
		12週	教科書 Unit 5 指名しながら解答・解説		平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。	
		13週	教科書 Unit 6 指名しながら解答・解説		ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。	

後期		14週	教科書 Unit 6 指名しながら解答・解説	平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。
		15週	言語活動	言語活動を通して、自分の考えを英語で表現できる。
		16週	前期期末試験は実施しない	
	3rdQ	1週	教科書 Unit 7 指名しながら解答・解説	ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。
		2週	教科書 Unit 7 指名しながら解答・解説	平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。
		3週	教科書 Unit 8 指名しながら解答・解説	ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。
		4週	教科書 Unit 8 指名しながら解答・解説	平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。
		5週	教科書 Unit 9 指名しながら解答・解説	ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。
		6週	教科書 Unit 9 指名しながら解答・解説	平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。
		7週	復習	学習の振り返りと補充
		8週	後期中間試験を実施する	
	4thQ	9週	教科書 Unit 10 指名しながら解答・解説	ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。
		10週	教科書 Unit 10 指名しながら解答・解説	平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。
		11週	教科書 Unit 11 指名しながら解答・解説	ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。
		12週	教科書 Unit 11 指名しながら解答・解説	平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。
		13週	教科書 Unit 12 指名しながら解答・解説	ナチュラルスピードで読まれる平易な英文の内容を聞き取ることができる。
		14週	教科書 Unit 12 指名しながら解答・解説	平易な英語で書かれた文章を、短時間でその内容を読み取ることができる。
		15週	言語活動	言語活動を通して、自分の考えを英語で表現できる。
		16週	後期期末試験は実施しない	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭に聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	

				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0